



+

# 第一礼拝次第

説教:渡真利彦文牧師 司会:安富英成執事

前奏			
頌栄	5 4 0	会衆	
主の祈り		〃	
プレイス	「すべてが生きる」 「イエスは愛で満たす」		
聖書朗読	ヨハネ 4 : 1-5	司会	
祈禱	(新約聖書 p 168)		
賛美	新生 3 6 3	会衆	
説教	「生ける命の水となる」	牧師	
祈禱			
賛美	2 1 7	会衆	
聖餐式			
献金			
報告		司会	
頌栄	新生 6 7 2 b	会衆	
祝禱		牧師	



# 第二礼拝次第 (19:00)

説教:渡真利彦文牧師

司会:羽地愛作兄 奏楽:新垣真理恵姉

聖書:ヨハネの黙示録 22 : 6-17

(新約聖書 p 479)

メッセージ:「時が迫っている」

プレイス:「鹿のように」「御手のなかで」

賛美:新生 3 6 3・新生 5 4 4



# ファミリー礼拝 (9:00)

説教:渡真利彦文牧師

聖書:サムエル記上 16 : 1-13

メッセージ:「ダビデを王に選んだ主の目」

<巻頭言>

## <第二弾>「天国からの奇跡」

6/18 (土) 公開

小さな田舎町で暮らす少女アナは、幼い頃から重い消化器疾病を患い入退院を繰り返していた。母クリスは遠方の大病院へ診察を頼み、やつのことでアナは入院するも、治療の方法がなく自宅に戻る。一方、二人が留守にしていた間、夫や姉妹との間にも亀裂が生じていた。そんな中、アナが庭の大木から落ちてしまう事故が起こる。幸い命を取りとめたが、彼女の身にある驚くべき“奇跡”が待ち受けていた。

<クリスチャンの視点から>

この話はクリスティ・ヒーム著[Miracles From Heaven]の映画化で実話である。この物語は、私たちが困難に出会ったときに、どこに神はいるのだろうかとの疑問に答えている。今あなたの周りにいる応援してくれる一人一人が、実は天の神が送ってくれた奇跡なのである。

“主は、あなたを行くにも帰るにも、今よりとこしえまでもまもられます。” (旧約聖書詩編 121 : 8)

映画「パッション」以来続々とクリスチャン映画が公開され、一昨年からは日本でも「神は死んだのか」「天国は、ほんとうにある」「ザン・オブ・ゴッド」などが公開されました。この映画を通して初めてキリスト教に触れた方々がおられると聞いています。映画館なら行きやすいからでしょう。クリスチャン映画3作品が9週間公開されること自体奇跡のイベントです。ぜひ今回もお友だちを誘って観に行ってください。

磯川道夫 (いのちのことば社)